



7月25日 申1号提出！

「お客さまと社員の信頼を回復し、安全で安心な JR東日本をつくりだす申し入れ」提出

JR東日本輸送サービス労働組合横浜地方本部は第3回定期大会を開催し、週刊文春で報じられた事象は、高い公共性を有するJR東日本として経営トップがおこなった重大な事象であることから、お客さまと社員からの信頼を回復させるべきであると確認をしてきました。現場は、赤字経営脱却のために奮闘している最中であるにも関わらず、未だに社員に説明すらされておらず不信感が募るばかりです。

新型コロナウイルス感染症第7波が取りざたされる中、日本最大の鉄道会社としての誇りと公共交通機関としての使命をかけて、全社員が一丸となり「安全」「安心」「現場」を基礎にあらゆる困難を乗り越えていかななくてはなりません。したがって、大会発言に基づき下記の通り申し入れを行いました。

申し入れ事項

1. 週刊文春に報じられた「JR東日本代表取締役 紹興酒30本で社員が救急搬送」に関する全ての事実経過を明らかにすること。また横浜支社に働く全ての社員に対して説明責任を果たすこと。
2. 勤務操配等の労働に関わる会社からの個人宅の固定電話又は、個人の携帯電話への連絡によって対応した時間を超勤扱いとすること。
3. 新型コロナウイルス感染症第7波に伴い、万全な感染対策を継続すること。

組合員の発言を基に申し入れを提出！

納得できる回答を強く求める！